

シラバス内容

2023 年度版

ドメイン名： Path

シラバス内容の区分（3段階）

(A) 十分に理解すべき項目（他人に説明できるレベル）

(B) 内容を知っている項目（説明はできないが、内容を理解しているレベル）

(C) その他や補足事項

赤字：改定箇所

番号	大項目	項目	A	B	C
1	病理診断と 病理診断科	<病理診断と病理診断科> ・概要		○	
2		<組織標本作製の流れと情報> ・手順		○	
3		<組織標本作製の流れと病理情報システムが対象とする情報> ・概要		○	
4		<病理情報システム関連データシーケンス> ・基幹システムー病理情報システムー検査センター間のデータシーケンス			○
5	病理・臨床 細胞ワーク フロー	<病理・臨床細胞の概要> ・ HIS ・ AP-LIS ・ PACS ・ Display ・ Report ・ Modality	○		
6		<IHE テクニカルフレームワーク [1] Vol-1> ・ 概要 ・ 記載内容	○		
7		<IHE テクニカルフレームワーク [2] Vol-2> ・ 概要 ・ 記載内容	○		
8	IP	<病理・臨床細胞のプロファイル> ・ アクタ ・ トランザクション	○		
9		<JAHIS 病理・臨床細胞データ交換規約> ・ 概要 ・ 対象範囲	○		
10	HL7	<HL7 メッセージ概要> ・ QBP/RSP ・ ADT/ACK ・ OSQ/OSR ・ OML/ORL		○	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ QBP/RSP ・ ORU/ACK ・ MDM/ACK ・ メッセージとトリガーイベント 			
11		<p><HL7 セグメント概要> ドメイン共通セグメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ERR ・ EVN ・ MSA ・ MSH ・ NTE ・ PID ・ PV1 ・ QAK ・ RCP ・ TQ1 <p>病理・臨床細胞関連セグメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OBR ・ OBX ・ ORC ・ QPD ・ QRD ・ QRF ・ SAC ・ SPM ・ TXA 		○	
12		<p><ORC セグメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オプション ・ データ型 ・ 名称 		○	
13		<p><OBR セグメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オプション ・ データ型 ・ 名称 		○	
14		<p><OBX セグメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オプション ・ データ型 ・ 名称 		○	
15		<p><SPM セグメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オプション ・ データ型 ・ 名称 		○	
16		<p><HL7 メッセージ例></p>			○
17	DICOM	<p><JAHIS 病理・臨床細胞 DICOM 画像データ規約></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要 ・ 適用範囲 	○		
18		<p><DICOM データ構造></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シングルフレーム ・ マルチフレーム 		○	
19		<p><モダリティ(臓器マクロ画像)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IOD モジュール 		○	

20		<モダリティ(一般顕微鏡画像)> ・IOD モジュール		○	
21		<モダリティ(スライド座標系顕微鏡画像)> ・IOD モジュール		○	
22		<モダリティ(WSI [1]・[2])> ・IOD モジュール ・WSI ピラミッド構造		○	
23		<モダリティ(バルクシンプルアノテーション)> ・IOD モジュール		○	
24		<DICOM 座標系> ・X-Y 座標系 ・Z 座標系 ・画像マトリックス			○
25		<標本管理> ・概要 ・標本 ID のユースケース			○
26		<DICOM データ構造例[1]・[2]>			○
27	CDA	<IHE テクニカルフレームワーク[3]> ・概要 ・記載内容	○		
28		<JAHIS 病理診断レポート構造化記述規約> ・概要 ・CDA 構造	○		
29		<CDA ヘッダ部> ・患者情報 ・作成者 ・転記者 ・保管組織 ・受取人(依頼科) ・本書記載内容責任者 ・オーダ情報 ・文書関係 ・承諾		○	
30		<CDA ボディ部> ・臨床情報 ・術中所見 ・肉眼所見 ・顕微鏡所見 ・診断 ・手続き手順		○	

31		<p><CDA ボディ部> 部門共通セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部参照 ・現病歴 ・既往歴 ・家族歴 ・社会歴 ・感染症 ・合併症 ・主訴 ・来院理由 ・紹介理由 ・検査理由 ・中断理由 ・バイタルサイン 			○
32		<病理レポート例[1]・[2]・[3]・[4]>			○
33	IHE-PaLM	<p><IHE-PaLM></p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・スコープ 	○		
34		<p><検討中のプロファイル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・IHE-PaLM のプロファイル ・病理・臨床細胞領域に関するプロファイル 		○	
35		<p><その他のプロファイル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・IHE-PaLM のその他のプロファイル 			○
36	デジタルパ ソロジー	<p><デジタルパソロジーワークフロー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 	○		
37		<p><DPIA></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクタ ・役割 		○	
38	日本病理学 会との連携	<p><デジタル病理画像を用いた病理診断のための手 引き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・記載内容 			○
39		<p><病理診断のためのデジタルパソロジーシステム 技術基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・記載内容 			○
40		<p><病理診断支援 AI の手引き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・記載内容 			○

以上